



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成24年06月18日 第567号「週刊五十嵐レポート」

経営立て直し

食品卸を経営している社長が飲食業の会社を立て直しにその会社に入り込みました。

会社が潰れるときは、お金が足りないとき。税金や社会保険料の滞納、従業員の給料未払いの状態。そして仕入先や金融機関への支払うお金がなくなるとき(売上不振、赤字の累積による資金不足が原因)。

社長は昔お世話になった人が経営する飲食業を経営危機になり、経営を立て直す相談を受けました。会社の中にはいって見て、経営を改善していけば立て直せると判断しました。そこで社長は、個人のお金をその会社に注ぎ込み、まず税金、社会保険料の滞納を支払い、給料未払い分を清算しました。

次に着手したのは、仕入原価を社長のルートに変更したことにより、仕入原価を下げ、粗利益率を3%アップさせました。単月黒字にすることができました。

次にやらなくてはいけないことは、資金繰りの改善。金融機関から新たに借入をするのではなく、金融円滑化法を活用して、1年間元本を棚上げしてもらうこと(「再建計画書」の作成)。現状単月経常利益が3百万円だとすると毎月の元本返済額が5百万円、毎月2百万円の資金不足になります。金融円滑化法で1年間元本返済は0(利払いはする)になれば、毎月3百万円のキャッシュが溜まります。

元本の支払猶予1年間で、経営を立て直していきます。財務は金融円滑化法で当面(1年間)は大丈夫。モラルダウンした従業員の人心の掌握。そして商品力の増強(競争相手と比較して)など。やらなければならないことが沢山あります。単月の経常利益が出ていることが救いです。過去の負債をどこまで圧縮できるか、です。

ちょっと
気になる出来事

6月17日(日)、日経新聞の一面「日本株保有3.5兆円 中国政府系ファンド トヨタの大株主に」という記事。

「中国の政府系ファンドとみられている「OD05オムニバス」がトヨタ自動車やコマツなど日本の有力企業への投資を拡大している。

欧州不安を背景に欧米投資家の買いが細るなか、中国マネーの存在感が高まっている」

今の日本の株価水準で、日本の優良企業の株式は「買い」だと思います。3.11があった昨年2011年が底。最悪期を脱するべく、経営努力している企業が輩出しています。

中国に限らず、今資金力のある人は強いです。



一口メモ

成功の秘訣

成果をあげる能力は習得できる(2)

成果をあげることは一つの習慣である

成果をあげるために身につけておくべき習慣的な能力は5つある。

- (1) 何に自分の時間がとられているかを知ること。残されたわずかな時間を体系的に管理すること。
- (2) 外の世界に対する貢献に焦点を合わせる。仕事ではなく成果に精力を向けること。「期待されている成果は何か」からスタートする。
- (3) 強みを基盤にすること。自らの強み、上司、同僚、部下の強みの上に築くこと。弱みを基盤にしてはならない。
- (4) 成果をあげる領域に力を集中すること。優先順位を決めそれを守るように自ら強制すること。
- (5) 成果をあげるよう意思決定を行うこと。決定とは、つまるところ手順の問題である。成果をあげる決定は、合意ではなく異なる見解に基づいて行うもの。

P.F. ドラッカー著「経営者の条件」(ダイヤモンド社)

- 週刊五十嵐レポート 毎週月曜日発行 ● 月刊五十嵐レポートダイジェスト
- 町コンランチエスター経営戦略塾「会社成功塾」 毎週日曜日 午前10時~12時。
- 町コン・ランチエスター経営戦略セミナー 毎月東京開催

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 tigaras@attglobal.net

